

カワネジガイ

Camptoceras terebra hirasei Walker

モノアラガイ目ヒラマキガイ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

選定理由

全国的に生息地が激減しているため。

形態

殻は左巻きで、殻高10mm、殻径3mmほどで著しく細長い。

国内分布

本州（山形県から岡山県にかけて）、四国、九州での報告がある。

県内分布

柴山潟からの古い記録があるが、最近の生息状況は不明。

生態

潟湖などの止水的環境下で水面直下～水深1m位に生息。堆積した落葉や枯れ枝、水草の茎に付着している。

生存の危機

潟湖の改修工事と水質汚濁。(A)

特記事項

溜池に生息する場合もあるので、石川県においても今後調査が必要である。

参考文献

- 松田征也 2000. カワネジガイ. 日本の希少な野生水産生物に関するデータブック（水産庁編）：30-31.
増田修 2005. カワネジガイ. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 6 陸・淡水産貝類：79.
増田修・内山りゅう 2004. 日本産淡水貝類図鑑②汽水域を含む全国の淡水貝類. 240pp. ピーシーズ. 東京.
湊宏 1993. 文献にみるカワネジガイの記録. 南紀生物. 35(2)：154-156.

写真（図）はありません。

分布図はありません。

県内の分布